

# 五月例会・次第

03.5.18

1. 開会挨拶
2. 総会
  - 1) 02年度活動報告
  - 2) 02年度会計報告・監査報告
  - 3) 03年度活動方針
  - 4) 03年度予算案
  - 5) 会則一部改正
  - 6) 役員改選  
新役員紹介 旧・新会長挨拶
  - 7) その他
3. アンケート記入(早稲田大学人間健康福祉科学科よりの委託)
4. グループ別の話し合い
  - A) 初参加・2回目参加
  - B) 「わかば」グループ
  - C) 「居場所」運営及び脱出支援方法の検討
  - D) 学習グループ・小グループ活動の推進
  - E) 《魅力ある会》にするには

《お詫び》・・・日程の都合で「ビデオ学習・第2回」は6月にさせていただきます。

### 《居場所》スタッフ等に県支援

4月22日、役員5名が健康対策課を訪ね、本年「引きこもり」関係県予算239万円(昨年+95万円)の内、以下の項目で「きびの会」へのご支援をいただけるとの説明を受けました。

- 県下各地の《居場所》スタッフへの「報償費」として50万円計上  
その内、「きびの会」に約26万円（単価¥2660/回）
- 「講師謝礼」6万円（¥5000/月）… 居場所運営について  
専門家を呼んで助言を受ける、講演を聞くなど。
- 「作業材料代」… 2万円/年  
「消耗品費」… 1万円/年

～ どのように運用していくか、皆で相談しましょう！ ～

### 毎土曜、出石小学校へどうぞ

- 毎週土曜日10～12時、担当の花谷さんがいます。
- 《居場所》参加について、その他《なんでも相談》に、…
- 家族会員お互いの《ふれ合いの場》として、…

～ 気楽にお越しください～

携帯・070-5306-9539（土、10～12:00）

### 勉強会《母親教室》のご案内

- まず母親（父親も大歓迎！）が安心できて、  
リラックスして子どもに向き合えるように…
  - お互いの思いを心おきなく話し合い、
  - ロールプレイで、子どもの気持ちになってみたり、…
  - 緊張した心と体をゆったりとほぐす方法を教わったり、…
- ～ 一緒に勉強しませんか～

第1回 — 5月22日(木) 2～4時、出石小学校で。

指導は — 西紀子さん … 元・高校養護教諭、悩みを抱えた生徒や母親たち多数と関わった来られた経験をもとに、きびの会に協力していただきます。カウンセラーの資格もお持ちで、長年にわたり心身リラックス法の研究・指導もしておられます。

参加ご希望の方は受付までお申し出ください

## 【6月例会・予定】

日時 6月22日（第4日曜日） 13時～16時30分

場所 NTTクレドビル17階・ウィズセンター会議室

岡山市中山下1-8-45, TEL. 086-235-3307

— 岡電清輝橋行・「郵便局前」下車すぐ —

内容 ◆ビデオ学習第2回

斎藤 環『《社会的引きこもり》実践的講座・理論編』

～ 「子どもとのコミュニケーション」を中心に ～

◆グループ別の話し合い

① お互いの交流

② 新年度の取り組みの具体化

## ～ 7・8・9月の例会予定日～

・ 7月20日（日） — 定例・第3日曜日

・ 8月10日（日） — 〈第4〉日曜日

・ 9月20日（土） — 第3〈土曜日〉

↑ … 9月例会には、KHJ全国代表・奥山雅久氏を招き、  
全国の実践例や今後の展望についてお話をいただき、  
例会後には有志の懇談会も計画しています。

## 《赤い羽根共同募金》に助成申請

私たち「KHJ岡山きびの会」では、4月30日付で岡山県共同募金会に今年度助成への要望書を提出しました。

支援申請の内容は次の2点で、

① 家族会員の学習・啓蒙のための研修事業の充実・強化

② 〈居場所〉活動を発展させるために必要な器材の整備・充実  
具体的には以下のものをお願いしています。

A 奥山代表を含む講演依頼のための「講師謝礼」の費用

B 学習活動推進及び〈居場所〉の運営機能強化のための器材として、

・ パソコン及び周辺機器

・ ビデオカメラ一式

倉敷市保健所 〈家族のつどい〉

日時：5月29日(木) 13:30~15:30  
場所：倉敷市保健所 3階 和室会議室  
内容：参加者の方同士の話し合い  
参加費：無料

倉敷市保健所 市民健康課(434-9820) 担当:谷野・石原

井笠保健所 『思春期を考える親の集い』

日時：5月29日(木) 9:30~12:00  
場所：井笠地方振興局(笠岡市六番町2-5) 別館2階大会議室  
内容：座談会  
・お互いの近況報告について  
・今後の集いの計画について  
・情報交換, その他

井笠保健所 保健課(0865-63-5252 内線375) 担当:井上・磯濱

〈脳内血流低下〉への対応策

— KHJ全国代表・奥山雅久さんより —

〈引きこもり〉を起こす原因の一部として、あるいは長期引きこもりの二次的障害としての「慢性疲労症候群(CFS)」などによる「脳内血流障害」があり、欧米では医学的な研究と対応が進んでいるそうです。

意識低下などの副作用を伴わない漢方系の薬で、市販の栄養補助食品として入手できます。〔2種あり併用でなく、〈いずれか〉の服用です〕

奥山代表から「皆さんにぜひお伝えください」とのことでした。

詳しくは、全引連ニュース『旅立ち』No13・14をお読みください

『訪問サポート士養成教本』

続いてやはり奥山代表からのメッセージです。今年2月に〈全引連〉が作成した『引きこもり訪問サポート士養成教本(基礎編)』が、各地の家族会で一般メンバーの人たちにも引きこもり問題の理解と対処法に役立つと、評判がよいそうです。

「岡山きびの会」でも取り寄せていますので、ご活用ください。

1冊1000円, 受付まで

佐々木正美先生のBセミナー

- ・日時 6月24日(火) 18:30～20:30
- ・場所 暮らしき健康福祉プラザ 201号室  
倉敷市笹沖180 (086-434-9850)
- ・主催 コミュニティカレッジ倉敷
- ・テーマ 《引きこもり問題全般》

佐々木正美先生のお話の後、個別の質疑応答にも十分に時間をとって丁寧にお答えいただけます。

<注> コミュニティカレッジ倉敷では、他に《Aセミナー》で、「自閉症」をテーマにした勉強会も行なっています。

連絡先：(086-424-7622) 岸本

NHK教育TV <心の相談室>

5月27日(火) pm8:00～8:30 「こころの相談室」  
『サポート・引きこもり～地域で育てる就労支援～』

毎月・第4火曜日に<引きこもり>テーマ

『家族の中に潜む問題』

— 齋藤学(対ル)先生講演会 —

～～ 見つめ直してみませんか？

あなたの育った家族を そしてあなた自身を ～～

日時：6月15日(日) 開場 13:00, 開演 13:30～  
場所：広島県民文化センターふくやま 大ホール  
(福山市東桜町1-21, TEL. 084-921-9200)

入場料：前売1,500円, 当日2,000円

前売券購入は<ローソン>で(Lコード61543)

主催：家族の問題を語る会(福山ACミーティング=FACTM)

連絡先：(090-2865-0964) 横路(ヨロ)

岡山きびの会  
連絡電話

0868-23-3294 川島(津山)

086-424-7162 織井(倉敷・事務局)

[710-0815 倉敷市日吉町517-4]

070-5306-9539 花谷(出石小, 土曜10～12時のみ)

## 活 動 経 過 (01.12 ~ 03.4)

- 01.12.16 セミナー「引きこもりからの旅立ち」 後援=山陽新聞  
於・金剛寺(岡山市磨屋町) 約100名参加  
講演:奥山雅久氏(全国引きこもりKHJ親の会代表)  
家族会立ち上げ — 名称「岡山きびの会」(佐々木正俊会長)
02. 1.20 第1回月例会(岡山国際交流センター) 96名参加  
講演:KHJ奥山雅久代表 片山虎之助総務相挨拶  
グループ別話し合い(無差別・13グループ)
02. 2.17 2月例会(国際交流センター)  
51名参加 小池さんがボランティア参加  
無差別グループの話し合い
02. 3.17 3月例会(国際交流センター)  
65名参加  
無差別グループの話し合い  
【本人グループ】設定 — 担当・藤原+小池 他6名参加  
アンケート実施(引きこもり年数, 会への要望, 等)
02. 4.19 4月例会(岡山市勤労者福祉センター)  
79名参加  
年齢別のグループ別話し合い  
県予算144万円で「脱出支援サポーター養成」を
02. 5.12 5月例会(勤労者福祉センター)  
55名参加  
年齢別のグループ別話し合い
02. 5.18 たまり場開所式(岡山市浦安・阿部邸)  
来賓 — 藤田健三・岡山県精神保健福祉センター所長  
高月由起枝・岡山市議会議員, 市職員随行  
本人グループ4名
02. 6.16 6月例会(岡山総合福祉会館)  
49名参加  
特別挨拶:秀徹雄さん『不登校を考える親の会の経験から』  
「きびの会」作成「個人カード」への記入  
《年数別》グループの話し合い 本人グループ4名
02. 7.21 7月例会(総合福祉会館)  
参加数 62家族(内新規9家族)  
講演:堂野博之さん(「あかね色の空を見たよ」著者, 映画原作者)  
(5年間の不登校を経て, 立ち直り, 現在に至るまでの体験から)  
《状態別》グループ別話し合い  
「居場所」男子グループ — 8/3~出石小学校で
02. 8.11 広島「もみじの会」8月例会に参加・交流(6名参加)
02. 8.18 8月例会(総合福祉会館)  
参加数 30家族

- 《状態別》グループの話し合い 本人グループ 4名+ボランティア3名
02. 8. 27～「ひきこもりサポーター育成研修」(8/27, 9/25, 9/27) 8名参加
02. 9. 15 9月例会(総合福祉会館)  
参加数 30家族(内新規3家族)
02. 10. 20 10月例会(総合福祉会館)  
参加数 50家族(内新規3家族) 講演のみ7  
臨時総会 佐々木会長退任 → 能登新会長就任  
講演: 川崎医療福祉大学・佐々木正美教授  
広島「もみじの会」との交流, 広島より4名(藤岡会長, 他)参加
02. 11. 17 11月例会(総合福祉会館)  
参加数 46家族  
体験発表: 新良昌宏さん(川崎医療福祉大学生)
02. 12. 15 12月例会(総合福祉会館)  
参加数 38家族  
ビデオ学習 斎藤環『〈社会的引きこもり〉実践的講座・理論編』  
《状態別》グループの話し合い
02. 12. 24 岡山県男女共同参画推進センター団体登録認可
03. 1. 19 1月例会(第13回, 総合福祉会館)  
参加数 37家族(内新規4家族)  
新春コンサート 弦楽五重奏(前島さん等6名)  
全国アンケート実施  
会員取り扱いについての提案
03. 1. 29 「ハンド&ハートの会」イズミ山陽店より助成金(5万円)
03. 2. 5 ゆうあいプラザ(おかやまボランティア・NPO支援センター)に団体登録
03. 2. 9 2月例会(第14回, 総合福祉会館)  
参加数 57家族(内新規5家族)  
『不登校・引きこもりを考える座談会』  
佐々木正美先生, 山田錦造氏, 能登邦彦会長
03. 3. 23 3月例会(第15回, NTT文化ビル内・ウィズセンター)  
参加数 39家族(内新規5家族) 61名  
体験発表: 廣坂徳通さん(川崎医療福祉大学院生)  
《会への主体的参加》のグループ分けによる話し合い
03. 4. 5 〈わかば〉グループ「お花見会」(9名+親7名参加)
03. 4. 20 4月例会(第16回, ウィズセンター)  
参加数 44家族(内新規2家族) 60名  
能登会長退任, 川島副会長(会長代理)が会長代行  
ビデオ学習 斎藤環『〈社会的引きこもり〉実践的講座・理論編』  
前半部…「引きこもりシステム模式図」を中心に  
《会への主体的参加》のグループ分けによる話し合い・第2回

〈赤い羽根共同募金〉助成申請用付書

## 「KHJ岡山きびの会」の 歩み・現状・課題

### 1) 「KHJ岡山きびの会」の発足

本会は〈引きこもり〉の親の会として、01年12月に岡山市・金剛寺で開かれた「全国引きこもりKHJ親の会（家族会連合会、略称「全引連」）」奥山雅久代表の講演会において、約100名の参加者により全国第20番目の県組織として発足しました。

「KHJ」とは、「強迫神経症・被害妄想・人格障害」の頭文字をとって名付けられたものです。引きこもり本人たちの殆どは必ずしも病的な原因によるものではありませんが、長期の引きこもりによって二次的にそのような症状を伴うものはかなり多くみられます。「病気でないものに対しては応じられない」という厚生労働省への対策として、やむなく「KHJ」の名がつけられたものです。

「全引連」の最初の組織は99年12月に結成され、毎月1組織に近いペースで地方組織が生まれ、現在では全国の都道府県から33組織が加盟しています。

### 2) 「きびの会」家族会員の年齢構成

全引連が協力して行なった全国アンケート調査では、50代以上の親が82%、「引きこもり」当人の年齢は20代後半から30代が6割を占め、全体の平均年齢は26.6歳でした。

私たち「きびの会」が昨年行なった会員「個人別カード(実態調査)」の中間集計でも、引きこもり期間が5年・10年以上に及ぶものも多く、本人の年齢も20歳代・30歳代が数多くみられ、平均年齢は26.4歳でほぼ同様な傾向にあります。さらに両親の平均年齢は50歳代後半に達し、どの家族も先行きに大きな不安を抱えています。

### 3) 「引きこもり」数のKHJ全国推計

引きこもり実数の把握は困難で、これまで50万人とも100万人とも言われてきましたが、昨年「全引連」が行なった推計では中高生の不登校約36万人を含めて約163万人と数えられ、今や全人口の100人に1人という見過ごせない問題として社会的に認められてきています。この推計を当てはめると、県内には私たちの会員数の数十倍の約2万家族が救いを求めていることとなります。

私たちの会にもほぼ毎月数家族が新会員として加わっていますが、一方ではいろいろな事情で継続参加できない家族もあります。行政を中心とする社会的支援体制の早期実現が強く望まれます。

### 4) 厚生労働省と県の対応

「全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会、全引連)」の働きかけにより、01年5月に厚生労働省は「10代・20代を中心とした〈社会的ひきこもり〉をめぐる地域精神保健活動のガイドライン(暫定版)～精神保健福祉センター・保健所・市町村でどのように対応するか・援助するか～」を発表しました。

「ガイドライン」では〈社会的ひきこもり〉は「不登校」と同様に特定の家族だけの問題ではなく、どの家族にも起こり得る問題であることを指摘しています。

厚生労働省の指針に従って、岡山県では02年度に初めて「引きこもり」対策予算144万円を組み、「ひきこもり脱出支援事業」として「ひきこもりサポーター育成研修」を実施しました。研修には本会から7名が受講し、4名がサポーターとして登録しました。県では今年度も同研修の実施が予定され、本会も会員に新たな参加を呼びかけることにしています。

### 5) 県が〈居場所〉スタッフに支援

厚生労働省は今年3月に『「ひきこもりかな?」と思ったら』と題して、家族・本人のためのパンフレットを作成・配布し、前記「ガイドライン」も最終版が今春発表される予定です。

他方では国会においても、昨年12月に「引きこもり対策議員連盟」が結成され、法制化・予算化への取り組みが期待されています。

県でも「引きこもり」対策予算として今年度は239万円が生まれ、「きびの会」その他で



の〈居場所〉スタッフにも僅かながら支援がなされることになりました。〔但し、これはボランティア協力者等への礼金で、今回申請の事業に関わるものではありません。〕

私たちもこれに答えて、引きこもりの本人たちが安心して参加できる〈居場所〉をしっかりと構築し、社会参加への第1ステップにしてやりたいと願っています。

#### 6) 「きびの会」の歩みの中で

1年4ヶ月の歩みの中では多くの困難がありました。

第1には財政上の問題でした。

昨年12月で活動歴1年でウィズセンターの団体登録の条件に達し、それまでの県総合福祉会館に代えて今年3月からクレドビルの会場を利用できることになり、利用料金の軽減(2万数千円→¥6,300)とともに、ウィズセンター及びゆうあいプラザでの印刷費削減とも併せて、困難をかなり切り抜けることができるようになり、ありがたく思っています。他方ではなお、現在の〈居場所〉(旧出石小学校)の使用料(1万円/月)の負担及び来年度以降の新しい場所の確保と維持の問題が残されています。

第2の問題は会の運営についてでした。

全く未経験で互いに異質の者が、無の状態から会を立ち上げ、協力体制を作り上げていくには多くの試行錯誤とつまづきが避けられませんでした。いくつもの困難を乗り越えて、今ようやく新たな体制で次の一步を踏み出そうとしているところです。

#### 7) 当面の重点課題

私たちは今年度の最重点目標として、次の2点を考えています。

第1には、本人たちが〈引きこもり〉から脱出するための第1ステップとして、安心して集まることのできる〈居場所〉を充実・発展させること、

このことに関連して、NHKが昨年秋から「引きこもり」問題を積極的に取り上げ、個別の質問・相談に答える「心の相談室」を開設したことが注目されます。これまでは、完全に部屋に閉じこもって家族との対話もない場合は対応が非常に困難でしたが、NHKの相談ネットには引きこもり本人から多数の相談や通信が寄せられました。ここにはネット時代の新しい可能性が提示されていると思います。私たちの調査「個人別カード」でも、約半数がインターネットを使っています。ぜひ、これを活用していきたいと思います。

第2には、親たちが子どもと自分の現状を肯定的に受け止め、前向きに対処できるように学習と交流の場を充実させること、その場を通して互いに支え合い展望を切り開いていく仲間になること。今年度は貴会のご支援を頂いて、会員の研修をさらに昨年以上に充実させたいと願っています。特に会の発足から1年余を経た今、その後の全国状況や今後の展望を把握するために、「全引連」奥山雅久代表を招いて講演と懇談の場をぜひ設けたいと思っています。

これらのために、【様式1-2】【様式1-3】に記しました事業へのご支援をよろしくお願いたします。

#### 8) 私たちの願いと目指すもの

私たちは「KHJ岡山きびの会」とともに歩むことを通して、家族会員個々としても多くのことを学び、仲間たちに支えられ、家族関係にも変化が生まれ、「この会に出会えてよかった」と少なからずの会員が思っています。そして、会全体としても学習と経験をたくわえながら、よりよい運営と協力のスタイルをしだいに身につけてきました。

その中で私たちは自分と家族への否定的な気持ちから脱却し、「この子のおかげで多くのことを学べた。この子がいてくれて本当によかった」と思えるようになってきています。

そして、引きこもりの若者たちはいずれも〈やさしく〉〈シャイ〉で〈ゆっくり〉という共通した特性があり、内面の〈プライド〉と共に〈社会参加・社会貢献〉を強く望んでいます。

この若者たちの特性と知性と体験を生かし、社会に貢献でき、自らも生活していける仕事の場と環境を創り出していくために、私たち「KHJ岡山きびの会」は行政・福祉・医療・教育・相談・等の関係機関・組織の方々のご支援をいただきながら精一杯に努力していきたいと思っています。

K H J 岡山きびの会  
平成 1 5 年度・重点活動方針（案）

※ 学習活動の充実・強化〔項目は①～⑥より抜粋〕

- ・例会での講演・体験発表・等の継続と充実
- ・K H J 奥山雅久代表から「全国の状況と今後の展望」（9月以降）
- ・行政・医療・相談機関等の講師派遣及び助言への要請。
- ・居場所活動についての研修（毎月，講演など）
- ・継続的な小グループ学習会の実施
- ・厚生労働省による『ガイドライン』の学習
- ・同省による『家族・本人のためのパンフレット』の活用
- ・家族連合会『引きこもり訪問サポート士養成教本(基礎編)』の学習と普及
- ・会報発行（「きびの会」及び「わかば」）による啓蒙・学習

① 居場所の充実

- ・前年度に引き続き旧出石小学校を拠点に活動する。
- ・県予算のついたのスタッフ活動費を有効に活用する。
- ・居場所活動に関わる学習会を開催する。
- ・新ボランティアの募集及び親グループの増強
- ・在宅引きこもり本人への積極的働きかけ
  - 親を仲介に，手紙，E・メール，ホームページ，等の手段
- ・「会の手伝い」的な作業の設定と参加呼びかけ
- ・会報「わかば」の発行

② 月例会運営の改善・充実

- ・参加会員は何を求めているか。
- ・会員とともに月例会の改善・充実を図る。
- ・例会での講演・体験発表・等の継続と充実
  - K H J 奥山雅久代表から「全国の状況と今後の展望」（9月以降）
  - どのような講師，どのような研修が求められているか。
- ・会員が主体的に参加するために必要な手だての検討
- ・将来的に会費の年額納入を検討する。

### ③ 行政関係団体との連携

- ・ 県健康対策課との連携強化と問題解決の推進。
- ・ 行政・医療・相談機関等の講師派遣及び助言への要請。
- ・ 「サポーター育成研修」への会員の積極的参加と登録の推進。
- ・ 県精神保健福祉センター・各保健所主催の家族教室等への積極的参加。
- ・ 各機関からの速やかな情報入手，及び本会から各機関への確実な情報提供。

### ④ 脱出支援方法の研究と活動

- ・ 引きこもり脱出サポーター活動についての研究・検討・実施に取り組む。
- ・ 全国各地の活動に学び，県内の不登校の親の会の取り組みからも学ぶ。
- ・ 家族連合会『引きこもり訪問サポート士養成教本(基礎編)』の学習と普及

### ⑤ 小学習会の実施

- ・ 経験のあるパートナー会員から指導を受ける。
- ・ 少人数で月1回程度行なう。  
テーマ例 … 「応答練習」「ロールプレイ」「母親ノート」，他
- ・ 将来的には「地域支部」での小グループ活動も展望する。

### ⑥ 財政基盤の向上

- ・ 会費の年払い又は半年払いの検討
- ・ 会内外へのカンパ・寄付の要請
- ・ 各種助成団体への応募・申請
- ・ その他，会員の知恵を集めて検討・実施する。

## 「岡山きびの会」 1年4カ月の成果

- ① 会が発足し、継続し、130家族が仲間になれたこと。
- ② 「居場所」が作られ、「わかば」グループが生まれたこと。
- ③ 会全体も会員も共に、学び、経験し、成長できたこと。
- ④ 健康対策課を初め行政各機関の指導や連携が得られたこと。
- ⑤ 不登校の親の会など民間グループとの交流が始まったこと。
- ⑥ 県や助成団体からの支援が得られたこと。

## 今年度、新たな目標に向かって

- ① 学習・仲間作り・小グループ活動を前進させましょう。
- ② 「居場所」の充実・発展、脱出支援に取り組みましょう。
- ③ 親自身が生き生きとなって、子どもたちを惹き付けましょう。

◇どなたか、お願いできませんか。

・講演のビデオ撮影 6月15日、斎藤学先生講演会